

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	アイツーリンク
住 所	弘前市藤野 2 丁目 1 0-4
電話番号	050-3092-4555

事業所番号	0210201935
管理者名	相馬 絵理香
対象年度	令和 7 年度

（Ⅰ）労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

（Ⅱ）生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

（Ⅲ）多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点

1事例以上ある場合：10点

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点

期限内に提出していない場合：-50点

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
175点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	35,944	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,749	人	利用者の1日の平均労働時間数	5.33	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（R7.4～R8.3）

前々々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,384,944	円	利用者に支払った賃金総額	16,511,234	円	収支	1,873,710	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	31,681,928	円	利用者に支払った賃金総額	28,493,313	円	収支	3,188,615	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	41,512,026	円	利用者に支払った賃金総額	36,299,167	円	収支	5,212,859	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	☐
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☒
-------------------------	-------------------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	☐
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	サービス管理責任者基礎研修
研修講師	東北福祉カレッジ
実施日・受講者数	1月 31日 他 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	3月 19日
※学会誌等名	森田養護学校進路ジャーナル
掲載日	R8 5月 22日
発表テーマ	事業紹介、選択支援事業について

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している	
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	がんばカンパニー
実施日/参加者数	1月 23日 1人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	仕事バンバンプラザ
主催者名	守成クラブ青森
日時	令和8年2月19日
内容	自社製品のPRや労働力の提供についての紹介を行った。

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	☐
⑤当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	R5 年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	8名
うち昇給・昇格を行った者	8名
当該人事評価制度の周知方法	職員会場で説明会を開催

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	☐
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	アイソーリンク	事業所番号	0210201935
住 所	藤野 2 丁目 1 0 - 4	管理者名	相馬 絵理香
電話番号	0 5 0 - 3 0 9 2 - 4 5 5 5	対象年度	令和 7 年度

地域連携活動の概要

<活動内容> <概要> 種苗農家でのポットの土入れ作業 <活動場所> 小堀農園 <実施日程> R7 年 4 月 1 日～5 月 15 日、9 月 4 日～3 月 31 日 <参加利用者数> 1 日 4 名程度	<活動の様子> 
<目的> 地域の種苗農家における作業に参加することで、地域産業を支える一員としての役割を経験するとともに、地域とのつながりを深めることを目的とした。 また、実際の農作業現場で作業を行うことで、作業手順の理解や工夫、継続して取り組む力、周囲と協力して作業する力、体力の維持向上など、一般就労にもつながる実践的な職業能力の向上を図った。	
<成果> 小堀農園において、1 日 4 名程度の利用者がハウス内でのポットへの土入れ作業に取り組んだ。 農園の作業状況や指示に合わせながら、職員及び農園担当者と連携して作業を実施した。継続して活動する中で、利用者が作業工程を理解し、一定の流れに沿って作業を進められる場面が増えた。 また、事業所内とは異なる実際の農業現場で活動することで、仕事として求められる作業量や正確性、周囲と連携して作業を進めることを経験する機会となった。	

連携先の企業等の意見または評価

挨拶や気遣いができる方が多いと感じました。 こちらの発言もよく聞き、理解してくれるので問題なく作業出来ていると感じます。 体力が必要な作業が多いですが、いつも真剣に黙々と作業していただき助かっております。 今後の課題と致しましては、更に明確な基準を示すことでこれまでよりも正確な作業が実現できると思います。 また、作業に対する要望やフィードバックなども都度に管理者様と連携を取り、より作業への理解度を深める機会を作れたらと思います。			
連携先企業名	株式会社 小堀農園	担当者名	高橋

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	アイツーリンク	事業所番号	0210201935
住 所	藤野 2 丁目 1 0 - 4	管理者名	相馬 絵理香
電話番号	0 5 0 - 3 0 9 2 - 4 5 5 5	対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

ECサイト運用におけるAIツールの活用

<概要> ECサイトの運営業務として、AIを活用した商品画像の編集、商品説明文の作成・修正を行った。また、AIを活用して作成した在庫・売上管理システムを使用し、商品の在庫数、販売数、売上状況等の入力・確認・管理を行った。

<活動場所> 事業所内

<実施日程> R 7 年 8 月～現在

<参加利用者数> 1 日 8 名程度

<目的>

ECサイトの運営に必要な画像編集、商品説明文の作成、在庫管理、売上管理等の業務を通じて、利用者のデバイス操作能力やデジタルツールの活用能力、EC運営に関する知識・技術の向上を図る。また、AIを活用した画像・文章編集や、AIを活用して作成した在庫・売上管理システムを実際の業務に取り入れることで、新しいデジタル技術に触れる機会を設け、業務の効率化や作業方法を自ら考える力を身につけることを目的とした。

<成果>

AIを活用した画像編集や商品説明文の作成を継続して行うことで、ECサイトへの商品登録に必要な一連の作業について理解を深めることができた。

また、AIで作成したツールを使用しながら改善点を出し合い、より使いやすいものに仕上げていくことで、業務上の課題を発見し、改善方法を考える力や、意見を伝えながら業務改善に取り組む力の向上につながった。

また、商品の在庫数や販売状況を管理するシステムを使用することで、単に商品を出品するだけではなく、どの商品がどの程度販売されているかなどを確認し、市場の動向や利益率を意識しながら業務を行う経験につながった。

これらの取組を通じて、パソコンやAI等のデジタルツールを業務の中で活用する力の向上に加え、EC運営に必要な商品管理・在庫管理・売上管理について実践的に学ぶ機会となった。

<活動の様子>



連携先の企業や事業所等の意見または評価

従来の単純な商品登録作業だけではなく、AIによる画像・文章編集や在庫・売上管理システムを業務に取り入れることで、利用者がより幅広いEC運営業務を経験できる環境を整えることができた。

特に、AI等の新しい技術についても、実際の生産活動の中で使用することで、利用者が無理なく操作方法や活用方法を学ぶ機会につながっている。

今後も、利用者それぞれの能力や習熟度に応じて担当できる業務の範囲を広げ、画像編集、文章作成、商品登録、在庫管理、売上管理等の一連のEC業務に関する知識・技術の向上を図っていく。また、EC業務だけにとらわれず、業務上の課題を発見し改善する力や、新しい技術を活用する力など、それぞれの職業スキルの向上につながるよう、実践的な知識・技術を身につけられる支援を継続していく。

連携先企業（担当者）

利用者からの意見・評価

最初はわかりづらかったが、慣れていくうちに使えるようになった。実際に売り上げアップにもつながっており、このままAIを活用して色々なことができるようになれば便利だと思いました。